

1 活動概要

文芸専門部は平成14年度(2002年)に愛知県高等学校文化連盟の15番目の専門部として設置された。15年度より本格的な活動を始め、令和4年度現在105校の文芸部(同好会)が所属している。

主な活動として、「県大会」「講習会」「作品集の発行」の三つを柱とした全県規模での交流を図り、校内の活動に限られがちな文芸部の生徒を支援している。

2 県大会

当専門部では、アートフェスタ(県高文祭)の文芸部門を兼ねて県大会を開催している。主に愛知芸術文化センターを会場に、講演会・分科会・交流会の内容で行っており、令和4年度は12校36名の生徒が参加した。

平成28年以降の内容は以下のとおり。

- 28年度 講演：坪内稔典氏「表現する言葉」
分科会：坪内稔典氏[短歌・俳句]
三浦優子氏[詩] 伊藤大真氏[編集]
生徒交流：部誌の閲覧
- 29年度 講演：山田 航氏(歌人)
「短歌は漫才?現代短歌の楽しみ方入門」
分科会：渡辺英樹氏[散文] 三浦優子氏[詩]
山田 航氏[短歌]
生徒交流：グループ交流会
- 30年度 講演：小松史生子氏(金城学院大学教授)
「ミステリ万華鏡」
分科会：小松史生子氏[散文] 三浦優子氏[詩]
伊藤大真氏[編集]
生徒交流：グループ交流会
- 令和元年度 講演：大山淳子氏(作家)
「小説家と脚本家、夢とリアル」
分科会 大山淳子氏[散文]
三浦優子氏[詩] 小崎早苗氏[短歌]
交流会：文芸アクロスティック
- 2年度・3年度 新型コロナ感染症のため中止
- 4年度 講演：堀田あけみ氏(作家)
「絵空事を愉しむ」
分科会：堀田あけみ氏[散文] 三浦優子氏[詩]
中村圭吾氏[編集]
生徒交流：グループ交流会

3 講習会

生徒たちが創作の技量を磨き合う場として講習会を開催し、創作に関する講義や実作等を行っている。

平成28年以降の内容は以下のとおり。

- 28年度 詩の創作(大西美千代氏)
- 29年度 俳句のワークショップ(石川裕子氏)
- 30年度 短歌のワークショップ
「短歌を楽しむ」(小塩卓哉氏)
- 令和元年度 暴風警報発令のため中止
- 2年度 俳句のワークショップ
「俳句でしか言えないこと」(加藤邦彦氏)
- 3年度 散文のワークショップ「小説は話の内容より文体のほうが大事」(諏訪哲史氏)
- 4年度 短歌のワークショップ
「短歌で言えることがある」(小崎早苗氏)

4 作品集『映絵』発行

平成16年(2004年)2月に創刊し、令和4年度で第20号を数える。創作発表の場として全県の文芸部に投稿を呼びかけており、散文、詩、短歌、俳句、部誌、部活動紹介の6部門がある。装画部門の審査や編集作業の一部を生徒編集委員が担当している。

5 全国大会(全国文芸コンクール)入賞者

28年以降の県内入賞者数は以下のとおり。

- 28年度 俳句部門 優秀賞1名
- 29年度 詩優秀賞1名 短歌部門優良賞1名
俳句部門 入選2名
- 30年度 短歌部門 入選1名 俳句部門 優良賞3名・
入選2名
- 令和
元年度 部誌部門 奨励賞1校 俳句部門 優秀賞2名・
入選2名 短歌部門 優秀賞1名・入選1名
- 2年度 俳句部門 優秀賞1名・優良賞1名・入選2名
- 3年度 俳句部門 優良賞1名
- 4年度 詩部門 入選1名 短歌部門 優良賞2名
俳句部門 優良賞1名・入選1名

8 全国総文祭文芸部門出場

前年度の作品集『映絵』の部誌・散文・詩・短歌・俳句各部門の第一席を次年度の全国総文祭派遣候補として専門部より推薦している。

令和4年度の写真



アートフェスタ講演会



アートフェスタ部誌展示



アートフェスタ部誌展示



アートフェスタ交流会



アートフェスタ分科会



作品集『映絵』